

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成19年5月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.53



米っ子クラブ
in 天岩戸

NPO法人天岩戸自然学校のメンバー、体験した子供たち、技術指導等で協力を得ている地元の人で記念撮影

「自然を活かした交流の場をつくりたい」と、高千穂在住の若者たちが中心となって設立した「NPO法人天岩戸自然学校」が、子供たちを対象として「お米ができるまで～田んぼの1年体験」を行っています。

5月27日には、『どろドロ泥に挑戦！』の巻ということで、田植え体験が実施されました。



4月29日の第1回の体験のときにまいた種から育った苗をみんなで植えました。



竹で、コップと箸を作りました。昼食は、自分たちで作った箸とコップで頂きました。

【今後の予定】

- 第 回 7月15日(日)
水田観察体験
- 第 回 10月21日(日)
稲刈り体験
- 第 回 11月4日(日)
脱穀体験
- 第 回 12月2日(日)
餅つき体験

夕日の里づくり推進会議 地域づくり総務大臣表彰 受賞記念祝賀会

夕日の里づくり推進会議（後藤福光会長、58人）が、「平成18年度地域づくり総務大臣表彰」を受賞し、記念祝賀会が5月7日に五ヶ瀬町桑野内の桑野内生活改善センターにおいて行われました。関係者約90人が出席し、栄えある受賞を祝いました。



あいさつする後藤福光夕日の里づくり推進会議会長



夕日の里づくり推進会議の佐藤成志総括推進員が、これまでの取組を紹介

夕日の里づくり推進会議の活動内容

「開発しない開発」、「開発しなければならないのは、人の意識」という考えの下、ソフト面の充実を重視し、イメージアップ事業、人づくり事業等により、交流による地域づくりに取り組んでいる。

夕日の里づくり推進会議のこれまでの取組

地区戸数 206戸

設立の経緯

- ・平成5年に五ヶ瀬町が「農林水産省グリーン・ツーリズムモデル整備構想等策定市町村」指定を受ける。
- ・平成7年3月に桑野内地区を拠点地区として「五ヶ瀬町グリーン・ツーリズム基本構想」が策定される。
- ・平成8年3月に「夕日の里づくり基本計画」が策定され、「おかえりなさい ふるさと五ヶ瀬でこころのやすらぎを」を基本コンセプトとして「夕日の里づくり推進会議」が発足する。
- ・設立当初は、体験イベント、特産品・郷土料理の2部会で活動開始し、現在は農泊、物流の2部会が加わり4部会で活動中。

主な活動

【イメージアップ事業】

- ・ふるさと体験交流ツアー
- ・夕陽の里フェスタ in 五ヶ瀬
- ・夕日の里彫刻シンポジウム
- ・夕日の里ふくおか町人会

【人づくり事業】

- ・興相義孝先生を囲む会
- ・夕日の里シンポジウム

【農村民泊】 9軒

受賞歴

- ・平成15年度宮崎県地域づくり顕彰「地域づくり奨励賞」受賞

第6回宮崎県障がい者スポーツ大会

5月13日

宮崎県総合運動公園（宮崎市）で第6回宮崎県障がい者スポーツ大会が開催され、県内各地から約1,500名の方々が競技に参加しました。

西臼杵郡からは、団長の甲斐節子さん（五ヶ瀬町）をはじめ、総勢62名が出場し、音響走60mで2年連続して大会新記録を更新した飯干順子さん（高千穂町）をはじめ、12名の方が金賞（第1位）を受賞しました。

楽しくも有意義な一日でした。



奈須馨さん（高千穂町）も、フライングディスク・アキュラシーの競技で金賞を受賞しました。

平成19年度宮崎県地域づくり奨励賞受賞

日之影町大人（おおひと）地区の大人歌舞伎保存会（山本唯仁会長、15人）が、県の地域づくり顕彰「地域づくり奨励賞」を受賞し、5月9日に県庁で授賞式が行われました。

大人歌舞伎保存会は天明年間から続く「大人歌舞伎」の技能・技術を承継し、「歌舞伎の館」において毎年定期公演を実施しています。この公演は、地域経済の発展、地域のイメージアップ、地域の振興に大きな役割を果たしています。

また、後継者育成と教育活動の一環として、大人文化財愛護少年団を結成し、地域の民俗芸能を正しく伝えるための活動も行っています。



東国原知事と大人歌舞伎保存会の皆さんとの記念撮影



5月28日に開催された社団法人宮崎県緑化推進機構の総会で高千穂地区建設業協会の永年にわたる緑の募金に対し感謝状が贈呈されました。

「緑の募金」に御協力ありがとうございます

春の緑の募金では、数多くの皆様から善意の寄附金をいただきありがとうございました。

募金は、学校の緑化やみどりの少年団の活動支援など、緑化推進運動に役立てています。



高千穂地区建設業協会による緑の募金贈呈式(5月31日、西臼杵支庁)

角川春樹さんの句碑建立

高千穂町三田井の荒立神社に、角川春樹さんが高千穂神楽をテーマに詠んだ句を刻んだ句碑が建立されました。

句碑には、角川さんが句集「猿田彦」の中で発表した作品「高千穂の大根を引きに猿田彦」の句が刻まれています。

5月13日には句碑の除幕式が行われ、角川さんをはじめ、県内外から多くの俳句愛好家や地元の方々に参加し、句碑の完成を喜びました。

境内では、地元神楽保存会による神楽奉納、刈干切唄、棒術や剣道の演武などが披露されました。



角川春樹さんの句が刻まれた句碑

J A高千穂地区 繁殖母牛6,500頭達成

郡内の繁殖母牛頭数が6,500頭に達したことを受けて、繁殖農家や関係者など約450人が参加し、5月2日に祝賀会が開催されました。

農家戸数が減少する中で、一時は5,500頭まで減少しましたが、6,500頭を目標に繁殖農家、JA、3町をはじめとする関係機関が一体となって、増頭運動を展開しましたところ、本年3月末(6,529頭)に目標を達成することができました。

これにより、年6回ある子牛セリ市に毎回850頭の子牛を供給する体制が整い、西臼杵の肉用牛の評価が益々高まることが期待されます。



高千穂牛の焼き肉を囲んで目標達成を祝いました。(高千穂家畜市場)

釜炒り茶の贈呈

5月18日、高千穂町茶業振興会から西臼杵支庁長へ新茶の贈呈が行われました。

今年は4月に入ってから寒い日が続き晩霜の害が心配されましたが、なんとか大きな害は受けずに出荷できています。

昔ながらの釜で炒って作るお茶(釜炒り茶)の生産地は、全国でも西臼杵地区と九州のわずかな地区を残すのみですが、近年その希少価値が注目を集めています。ぜひみなさんも一度味わってみてください。



新茶を贈呈する高千穂町茶業振興会の皆さん

「高千穂の神社」紹介

高千穂町観光協会は、高千穂町の神社を紹介したガイドブック「神々の坐(おわ)す里 高千穂の神社」を作成しました。執筆したのは、高千穂町商工観光課の佐藤純子さん。観光客からの問い合わせのために調べて執筆したものをベースに1年がかりで本にまとめました。

収録されている神社は、高千穂神社や天岩戸神社など24社で、祭神の由来、境内にある巨木や各神社に伝わる伝説を、わかりやすく紹介しています。神社巡りおすすめコースや神社の参拝の仕方、イベント日程なども盛り込まれていて、一読の価値ありです。興味のある方は一度読まれてみてはいかがでしょうか。

問い合わせは、高千穂町観光協会TEL 0982(73)1213。



高千穂町職員 佐藤純子さんが執筆した「神々の坐す里 高千穂の神社」

【お知らせ】

「青年の主張」西臼杵地区作文募集

平成19年度宮崎県「青年の主張」の作文を、次のとおり募集しています。

応募作文の中から「青少年の主張」県大会(8月22日宮崎市で開催)の出場作品1点を選出します。

皆様のご応募をお待ちしています。

- 1 対象者 15歳(中学卒業)以上30歳未満の青年
- 2 内容 社会に向けての意見、未来への希望や提案等
- 3 応募方法 400字詰め原稿用紙3枚~4枚程度(5分以内で発表できるもの)
- 4 締め切り 平成19年7月20日(金)
- 5 提出先 西臼杵支庁福祉課

詳しくは、西臼杵支庁福祉課(TEL 0982(72)2193)までお尋ねください。

編集後記

最近、みやざきが注目されています。高千穂郷は、神話と伝説に彩られた、天孫降臨の地です。豊かな自然、歴史、文化など、素晴らしい観光資源にも恵まれています。今こそ全国に高千穂郷を売り込む絶好の機会ではないでしょうか。温かくなってきたので、休日に時間を見つけて高千穂の町を歩いて見てまわっています。車に乗ってはい気づかないことが意外と多いことに気づきます。そのような小さな発見を大切にしたいと思えます。 博

* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html

古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

「ふれあい四季彩館」落成

4月26日

高千穂町野方野に、国の「元気な地域づくり交付金」事業を活用して整備していた女性・若者等活動促進施設「ふれあい四季彩館」が完成し、落成式が行われました。

今後、この施設を地域づくりの拠点として、女性や若者を中心にした活動や、地域資源を活用した交流等の取り組みが期待されます。



関係者によるテープカット



落成式で行われた神楽

西臼杵支庁だより

春の全国交通安全運動街頭キャンペーン

5月11日

春の全国交通安全運動(5月11日~20日)にあわせて街頭キャンペーンを実施しました。

高千穂警察署、高千穂地区交通安全協会、同地区安全運転管理者等協議会の会員や役場職員、西臼杵支庁職員が参加して、約200名のドライバーにちらしを手渡し、交通安全を呼びかけました。



ちらしを手渡し、交通安全を呼びかけました。